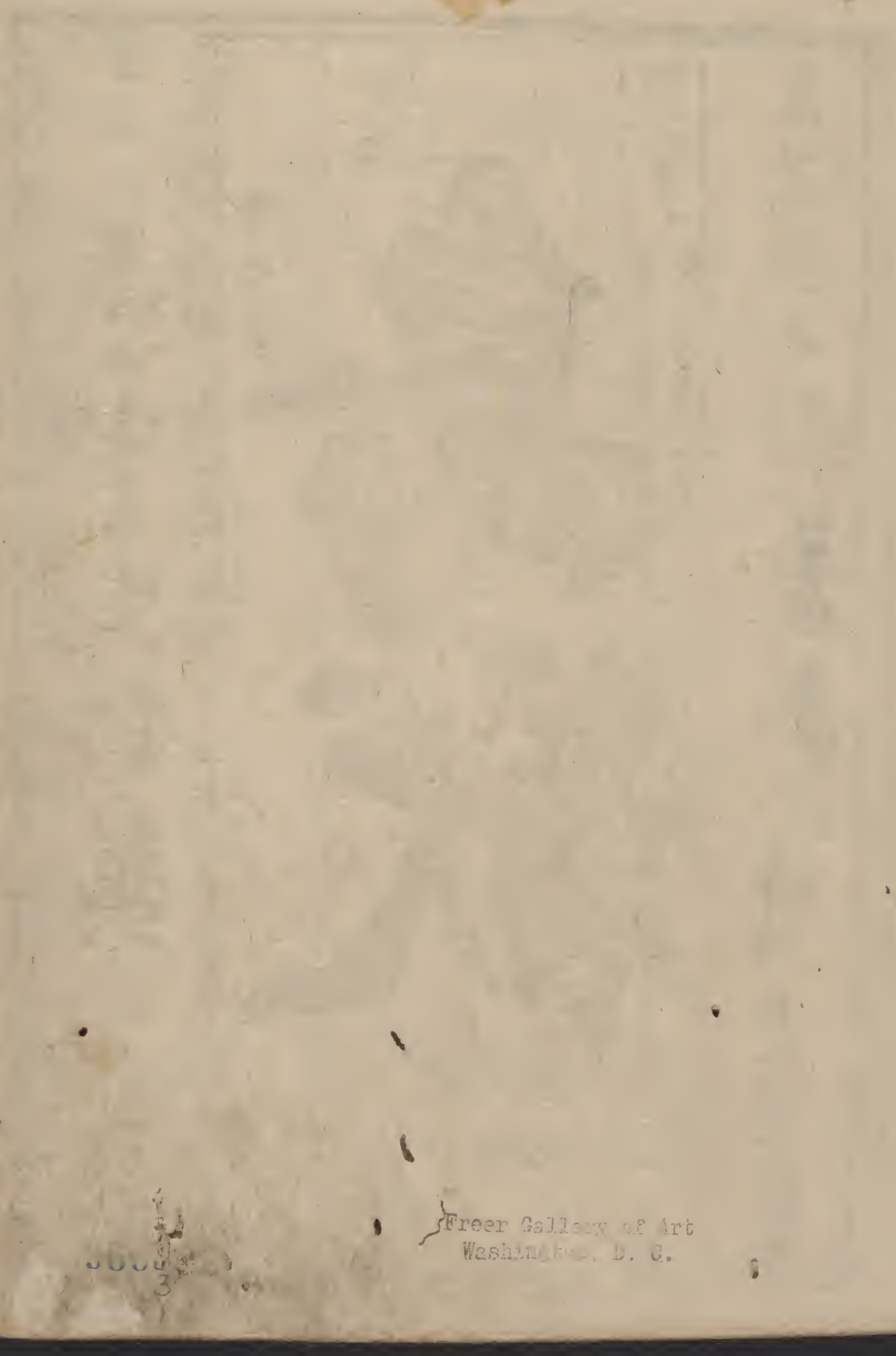
Roken (Hayashi Moriatsu)
Gasen. The primer for drawing

754.7
R8



Freer Gallery of Art
Washington, D. C.

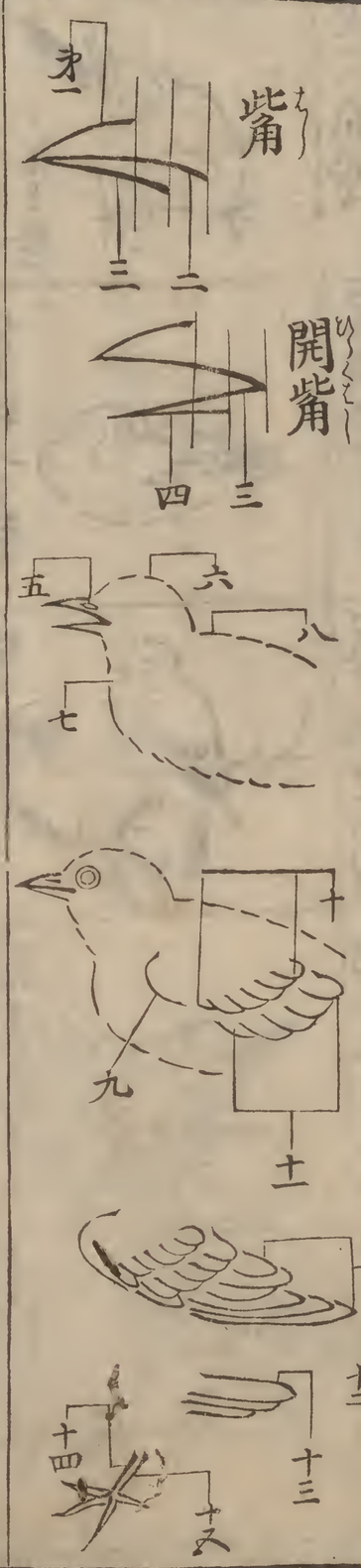
754.7
.R8

畫筌卷之三

筑前直方 魯軒林守篤編輯

運筆

運筆 画法運筆定法なし只時々に臨て宜しきにあてゞ法文字あれども弦とも初学のこゝろえの爲その要をあらまし記すなづむ事なかれ



彩色總論

凡諸鳥ハ皆総の地を黄色をぬてそのうへくまどりてあしゝ質繪ハ墨浅描色し深くして圖ニて画

禽鳥

鳳凰　雄ハ鳳雌ハ凰此鳥四品あり赤多ハ鳳青多ハ鸞黄多ハ鵷紫多ハ獄鳥鸑白多ハ鸛鶴○喙と冠ハ肉色朱のくはれ項首の尖毛ハ緑青ぬり絆まきの描入あやの尾ひと入ル脈の筆ごふんよて曲ぐる鳥精ハ雲母の濃墨頬喉及ひ胸腹ハ黄土よてくま取る毛事ハ朱よ雲母胸より背と肩緑青彫塗章とおごふんの毛あ又一曲ぐる苔緑よて章とおふんの重朱孔羽あり朱乃曲よて脛ぬり保呂貼倍よね白こごふんの珠三四と連角弓狗あり刀九尾黄土具ぬり朱墨と汉て中乃具と活て周とやり圓點と作れ

鳳凰

宮内卿法印守信筆

高麗雉

冠すこし曲黒てん六うけ鳧さきこんもう頬朱生ゑん折りつき頸ゑくまくま同文こん下六ゑろくびの淪こゑんゑ一同毛出背茨土具すこし曲毎羽合茨土曲淺すこし深さこの文生ゑん深さをひこゑ出入小羽わさき腰六

錦雞

錦雞面肉色生ゑん指ゑ先ゑ緩冠ゑゑ同距紫開く両糸すこ色茨りよりわさ尺曲同ハすみゑんしーうちわさ尺項ハ生ゑうたくすこてん茨けこ出背六ゑうう深茨土汁文羽さき毛ゑ九十七勢ひかろ糸すこゑ出すこ毛ゑさこうり深すこ鎖繋茨土出うう曲毛出同しー尾ハ茨土具合茨土くゑ糸すこ文羽莖ごゑん指せてりへー緒尾ハ表糸うう茨土肩わさきわいらうく淡同毛出白六生ゑんしーくゑごゑん距後肉色ぬりこゑ上よ糸深せうゑんしまて文毛出

雌黄土ゑぬり淡すこくまこと文

頬肉色

丹頂全躰おゝく淺くこゝろ
背より胸へ曲うけ羽ことに退曲こゝ
毛出凡頭の白きものは皆如
ことくこゝを如此
嘴ハ小夫乃方すみ
白緑をまじて淺墨をよび汁まて
曲者ハ朱頂ハ朱 朱の法は内色次り
丹又丹と朱と合又朱三ツ
生ぜんまて指り中に墨暈
ぬり深墨まて仕ふる是ハ墨
或墨淺ぬり深すみの文彩を入まを
まず後のもこゝん翮ハ上下とも
乳成上えりそけし尾ハ白しこゝを上に
蓋羽墨
師曰墨羽ハ泥ますてうぐとこゝさ墨へしなう
まなようすこさ墨と墨へしなう
羽もお交へし粉本ハ似をともも
なりまうをてうるそしく
まを墨しく

丹頂

鶴

小鴈

冬のころひくさの内冠まゝ
ハ赤ひろ足のさき
ゝし

大方目

足指らつぶよ似てぐさめの足乃如くひろゝし嘴
まゝくろゝし嘴肉ところめよしく
皃のおゝ朱のさめ少

秧鶏

くひな
小とろろとり云
大とくひなと云

けつま

鶴秋雞

白ひよどり

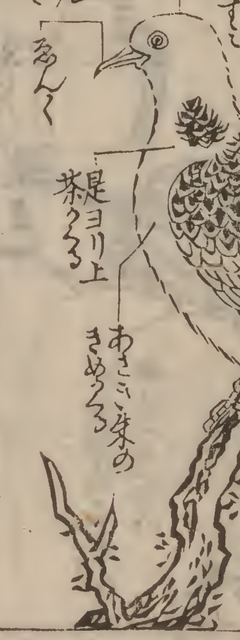
なげけり

いそつぐみ

茨土をやう毎根ヒこ
くまを汁うすくそる
首のもこ茨汁多入

あるこに生と

斑鳩



頂小鳩

吐綬雞

白鳩

全体ごもん色

鷽

黄八鳥ニ

全体ちゃうのごもくまも同

嘴八尘ちんくまも同

足白緑具生ちんの文

猪子鳥

雀より大ニ

羽ハうすこめり墨ヲ入

肩合黄土くま毛ニ朱すこ

脇ニ墨ヲさしてうすく

うすぐろ

合黄土ゟ

ごもん

合うどんな朱すこ毛虫

うすぐろ

守房筆

山つぐみ

大さ尾のつぐみの如ニ

白のうはすこ文

羽ハうすすこ金茶茶色

ちんニのくすみの白合黄土まだらにお入てこくま

羽肉ハ茶

鶺鴒

大さ鶯のごとく頭背翅尾黒斑海色ゟよる

すこ

白六ぐうすぐろふ

鵐

此鳥大中小あり八國ハ大ニ

鷸

鶺鴒

鳧

都鳥

形くろよく似て背いくらかく後腮白く觜こまと赤し

駒鳥

形うこひすま似て大さハゆすゝめとこ頸背蒼赤頷頬赤色

又雀ご成りこ成ると云ちのまり喉紅からくろいろこ成こ

すゞめ

背ハすゝきのぐ腹ハ黄土のぐ面ハうすぐゝき曲よりけ一朱墨くろ多雌ハ全躰黄土具すゝふ

黒ちぐみ

形つぐゝよ似く灰色色ま斑ま頭翅尾純黒頬白圀く含ず觜脛黄

雀

形うこひすま似て背ハ大こ多ハ雨まありふの時ハ居らいご天まわりこ腰のおゞ黄色黒斑あり

田雀

ひなうよ似てお大こ多ハ雨まありふの時ハ居らいご天まわりこ腰のおゞ黄色黒斑あり

葦雀

形うこひすま似くめきやうくしおゝ云り

腹白ご尾長一背もうこひすま似りつぐゞより小一

頬黒鳥

ちゝりん先云小まこうらゝ胸ま少白毛あり

文鳥

形うこひすま似て背ハすゝき紅ご多ふ両頬純白觜こもあり

鷭（だてしぎ）

大さ鶉のごとく身少そて長し一上嘴少短し一名水鳥 毛ハうすらかに灰黒く斑也くひ長く足黒し後白く尾短し胸より黄赤斑を

羽斑鷸（たまじきしぎ）

腹白しぎと似て大さより少し 眉頸赤色眼の四邊白くして淡紫黒月紋のごとし尾淡紫黒脛ハ緑し黒條ありうち肉のごとく肉色あるいはくろむ

鷸（うづら）

大さ鶉の如く長尾尖嘴黒灰緑背白腹鳩より小ぶりしてつくと大なり

鵐（ほおじろ）

大さ雀の如く嘴黒く上嘴曲る 雄ハ頭黒く雌ハ灰色

鵯（ひよどり）

大さ鶫の如く嘴黒く頭に毛冠あり 頬白く喉黒く背灰色腹淡黄色

鵙（もず）

大さ雀の如く嘴黒く上嘴曲る 頭背灰色腹白く胸に黒斑あり

鵲（かささぎ）

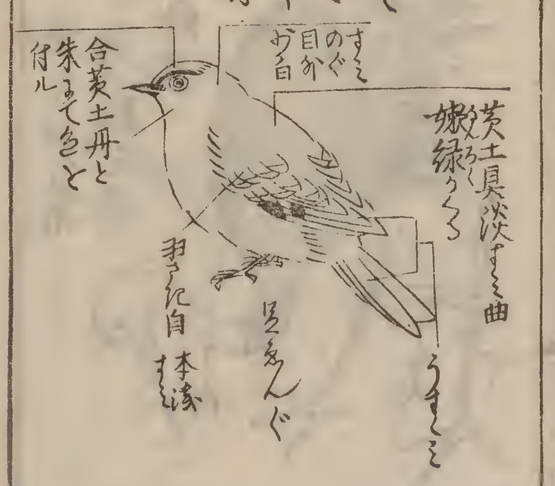
大さ烏の如く嘴黒く尾長し 頭背腹黒く翅尾に白斑あり

背黒鷸（せぐろしぎ）

目のふち觜の本白六
目茨
觜全黒ぐま合
茨土
くま

菊戴（こくいたゞき）

狀目白よ似て小や背ハまた腹ハうす白一脊ハまた他時いろ〳〵



蒿雀（あをすゝめ）

全躰茨土のぐ〳〵り淡すゝ曲〳〵り毛ろの茶ろゝろ

素吉了（さゝり）

作ぐちの方をさやぐあり又色白項サ茨なりもろ一名九官丹咪脚黄

青鶫（やまつぐみ）

白緑まだらうわいろうあかり肩の小羽ハ朱すゝまだらをろふ

かゝ鳥（どりかゝ）

狀姫よりも小一臥すゝ

背と胸ハ生ろんしのぐに丹と墨とか加へ、白ぬり朱すゝまて曲れり背ハ遠めよりろゝハ赤めよずゝ一毛ゆ朱すゝ

すゝと文のろあさゝこうんまのすゝまよそて夫人ろ

鴿鴿（くゝ〳〵）

両翼の下各白點あり大さ斑鳩のごとし

黄鶺鴒（きせきれいおまし）

背うすゝくまくさの汁ろゝろ

むくどり

嘴肉色紫のさめくま全躰入うすくら淡茶くげ添墨ふち入

頬白してすこし文

背

白

茶

白

こふん

百舌鳥

尾つぐみに似てより多し

天狗ら

告ふ

ひよ　まひよく雀よりやゝ小し

地ハ茶土ぬり茶うるる所ハ少あさく北月ハ少墨ましし腹ハ少茶土を加ふ

嘴足肉色

羽かすこしあさく合て所ハ少墨ましし

茨茨之毛おもに或合泥

桑鳶

ひよりの大さ淡黒色嘴茶或淡白

全体墨具うすくくま羽のくろさ上階

ごふん

肉色

むさゝらし

大さ雀のごとく

茨土具朱すこくま

朱墨くろ

嘴足肉色

黄雀

茨土具をぬり処〻浅墨曲ごと乙きをい

三光鳥

すこし曲みけ朱すこくろ

ごん上

白

大さひよりも長く尾鳶の数〻

雌ハ色浅く尾短く鳩の尾よ似くより

青鳥

茨土をぬり所背目のさいその分うすこし曲嫩緑と合け或茶をまぜてもく〳〵

報春

狀雀よ似て青黄褐色

志とと

大さ雀の如く淡赤色嘴稍く尾長

茨六くめり
臥背茶墨
くろる羽尾ハ
うすこめり
泳すこ玄
入る

蒼鷺さぎ

あとささと

嘴淡肉色合茨土くまり
目のまこり茶汁くはば

鷺より似て大く翅の
跗黒一
嘴外黒
内黄腹白
脚緑

喉紅鳥

のこどり

大さつぐこのめし一茨土臭めり
うすこくま朱すこくろる

頭背灰赤色
眉白く頬白
頬下及ひ頷
深紅色翅
青く羽尾黒
兩脇青く腹
白一

雀鷹

くまの

背ろ蒼黄すみ兩乳羽さわ
ようすこ退曲こみさと
腹ハころ毛あすこ目ろ
こうくまるん好り嘴角の
外白緑足肉色こんの文
あさうんる或ハ白
たっこう
茨土々くまへ

鴫

とび

嘴ろ仰く
翎小く尾ハ
扇を披り
こ
茨土ろうす
墨朱すこ
ろくろる

くつてう

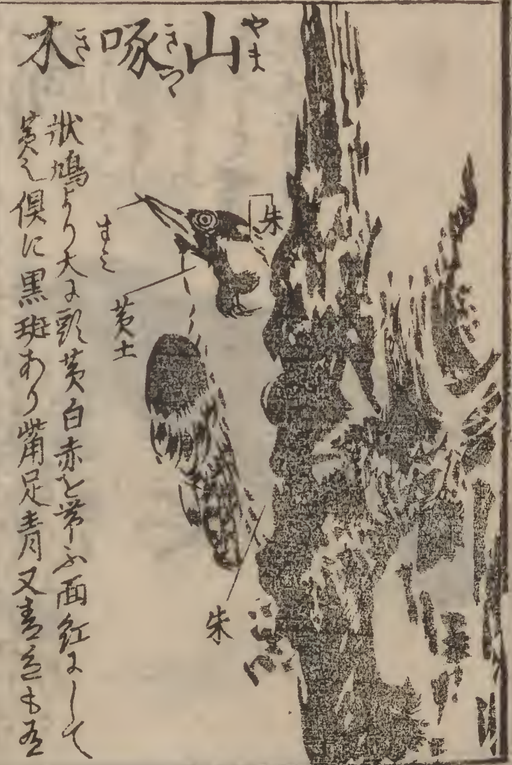
ふるひたち

茶うけ
下すこ曲
地茨土色
褐色」
茨吉と朱ごこ
すこ
とすけ白
淺白
白
肉色

山啄木

やまきつつき

狀鳩より大よ凱茨白赤と帶ふ面紅よして
茨く倶に黒斑あり嘴足青月又吉色もろ



雀

すゞめ

墨弦

頭背うすぐろ

白鵬 しろつる

狀雜鳥に似て甚大なり
尾の長さ三四尺
もゝあり

全体こまかき
淺ぬり深
退塗をみ
文淺深なし
嘴こうん色
黒面朱脚足
甚多くく文ある
ゑん後すこし

雌 黄土色次て
茶とくるその
まさき処を背
やゝ赤さ面そら
にぬる頬ハ肉色朱
くゆ羽乃文朱すこ

烏 からす

又鴉ともいふ
慈烏より
大ゑして嘴
肥大なり

すこのくぬり中すこ
よてれ赤くゑ深めろ
此角ゑて墨ぐ

白鷹 しろたか

ごうなて仕者白色のことは用

全体白
て翅翮黒
く嘴足紅
なり狀鳴
よろし

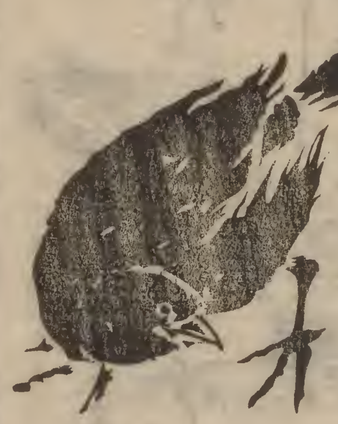
鳩 はと

墨筑

烏 からす

墨筑

全体とさすこ



雁 かり

背うすこ淡墨文

朱鷺 とき

たう

狀白鷺
よ似ゝ
冠も
ゐ
紅色帯
翎の莖
紅なり

全体こふん毎羽朱のさゝ曲面
肉色朱のくま

足すこのぐ

めぢち

羽こな淺すゝ

英土真淺すゝくま

うすぐらま毛ゟ同ー

あさき文字墨

尾先より下朱墨

すゝ曲朱すゝ

ニふん

あのひけ

大さ雀の歟

尻せなか朱喉ゟ

ここさすゝ後白く

ーと呂すゝ

毛ゟごふん

こんみ小

全躰緑ゟ羽と尾紺

尾まきりんこう

うかち

全躰うす

墨仕立

目のあと朱

かうとのど

白

ゟすこま

合せ土

足うすゝ

ひがら

せなか墨のど

後ごふん

くまれげす

相思鳥

頭こう背尾と

まく白六めう

草けいけ冠毛出

喉胸尾助ゟこう

嘴すこ曲の上朱

色る目の分白投

後生ぎん毛出下

後白尾のうら白

寶永年中ゟゟ

ゟど

羽の耳ゟ出

ゟうめぐ

足朱 八墨

五十からび

尻より背ゟ色て墨

のぐら毎羽尾と淺

すゝもごふん

此色ご朱の

さめめ少

ひがら

墨のぐ淺すゝ仕立

尾も同ー

ごふん

入内雀

雌

脇背うすくくま合黄ゑんじゃうろねこきすこし赤入
腹白

雄

鸐

ひよくのとり 明暦三年初てとくるくやう

金脇朱
大ねこうすく毛ゑ
朱浅くろく

善知鳥

うとう 大さごんのとり

背墨具中すこうけこきすくくま毛ゑ同しぐんじゃうくろ頬よこふんそゑゑ
喙すくまうすく元合ろうとうくろ同本のこぶハ白六眼朱ず〳〵

風鳥

ふうてう 大さつじめのとり

紅翡翠

こうひすい 大さつくこまよ鶸ぐらい

菊鳥

きくどり 大さ雀のめ

雲雀

ひばり 大さ雀のめ〳〵

鶫

つぐみ かくとりし大さ雀のめ〳〵

紅雀

背羽うすく毛出朱羽ノ白點
喉か白
後こゝろ朱すゝ
文ごふノつさ

朱

朱ヲ

雌　のど胸白下腹朱のさめノ色ル

背尾羽淡すゝめり白
星とつく

虫食

背まで
うすくくまれ
茶緑ゝくる翅ま
入朱雲ゝくる
もし淡すゝ

うひすに似て小し八九月ニ入よこゝろ

足ゑんじゅのぐ

赤ひか

くもつてうの
ねみおゝさ
ものし

朱すゝし朱士サ加ヘ

鶫鶇

芡土のくもめりすゝく
色すゝ章をまぜふん出入ル此用墨ル
の方白六ツ

ゆゝろ鶫より
ひろく墨曲
れはす

足白六ツ草の汁文

ひよ鳥

背黄土ろゝめりあいろうよこおびすゝし
曲ろうすゝま

扱うすゝくま目の迎リ
朱すゝ

頬白鳥

背ハ萌より大よして
灰赤色翅尾暗黒ゝ
尾の両脇白毛あり
脇より背ゝ淡き曲
上に茶をろゝる

ふへんごふん

合黄土赤色くま

きごふん

足ちゃ

深山頬白

ふへんごふん

足ちゃ

せろう黄ノ如

こゝろリ合黄土サ

鶸ひよ鳥

頸項ニふへ背翅
尾ニさしこゝ扱う
すゝ墨ゝ一ろ朱

香琉璃（こうるり）

翠雀（かわせみ）の褐色（ちゃ）なるものなり

ちゃぼ

狀（かたち）雀の大サ背猶青翅尾ハ黒上よこんふる

鴿（へきとん）

毛品多一
青白黄
赤紫黒
皂緑鵲
斑花斑
多品なり

小枝守義筆

雉鳩（きじばと）

鳲（とび）

鳲ハ腹斑也鵰ハ不斑斑也英土をめり浅すゝ曲朱すゝかけ同毛虫多皆ごめんもうき背胸肉也合黄土曲生ぬるん毛虫尾ろ〳〵白色

鵰（くまたか）

首腹白〳〵大サ烏の如江鵰ハ小ゝ

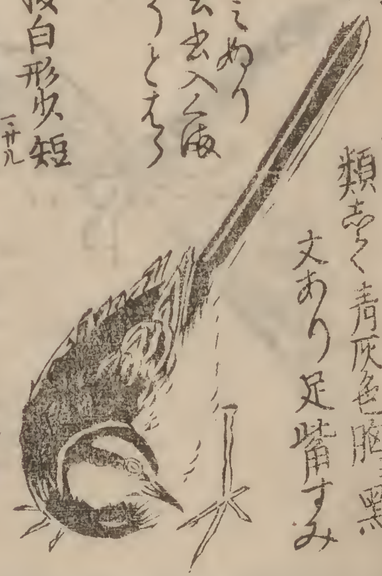
双背尾さゝれぐ淡すみろ海もも玄円ろ〳〵足肉色朱文

鷲鵰（せきれい）

うもでこめりこさ雲出入ふ風みゝめうとろとハ二文

背黒く夜白形少短〳〵大サ雀二倍

いしたき狀千鳥ろ類ぬく青灰色胸二黒文あり足嘴すみ



山鵲（さんじゃく）

狀如二鵲有二文一采一又ごめんぬく仕立ぬもを

嘴足朱

星ハごめん中のてんハ朱家生ろ

尾ハ並の上ひこんぐうろる比ハおさぎうゝハごめん

蝶 てふ ちょう

蜻蛉 あきつむ とんぼう

獸類 けものるゐ

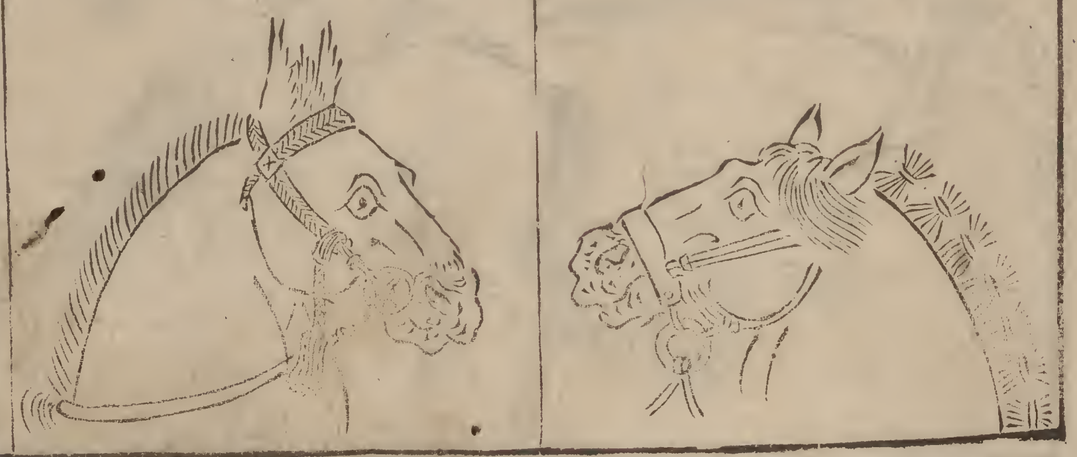
虎 とら

黒白あり

合黄土ぬりくま丸けして朱をぬり毛少々入る眉と唇の通り并指といごろん

馬頭 うま むまのかしら

同



馬（むま）

毛色あくまで

守信筆

すみ色の馬

尾髪ハ淡墨よて

土佐筆

猿猴（えんこう）

面うすくこんの方こふん毛ごく全体浅黒ぬり朱ずくうる毛をこきすべし

兎（うさぎ）

白毛あり

地ハ黄土具ぬり朱墨くまよ・丸毛出すみ

犀（さい）

同上

探幽法印六十四歳筆

魚類（うおのるい）

紅魚（たい）

肉色ぬり朱のさめぬる

守信筆

鮒（ふな）

鯉と同じ

鰍（あゆ）

法眼元信筆

形より源すゝめり出ーせ乃方淺すゝ後の方よてくら淺れけーあいらう淺をる事と合芡お曲さおひ入ひ込と尾ハ淺すゝ

鯉（こい）

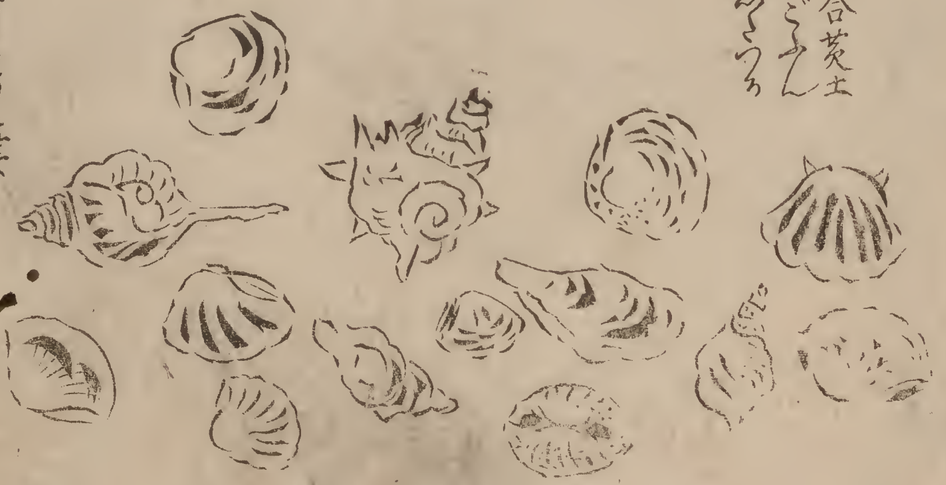
元信筆

形より脊ま中（せ）（ち）すゝめりくまれけーうろこ〻ん中要くま後ハ方ハ淺すゝま尾てあいらう淺うろひ込の角うすゝくま合芡土さおひ付或ハ朱要ちて粘り封くにくまりけを

金魚（きんぎょ）

貝類（かいのるい）

淺要合芡土朱すゝごん〻を以てちうろう



守房筆

龍

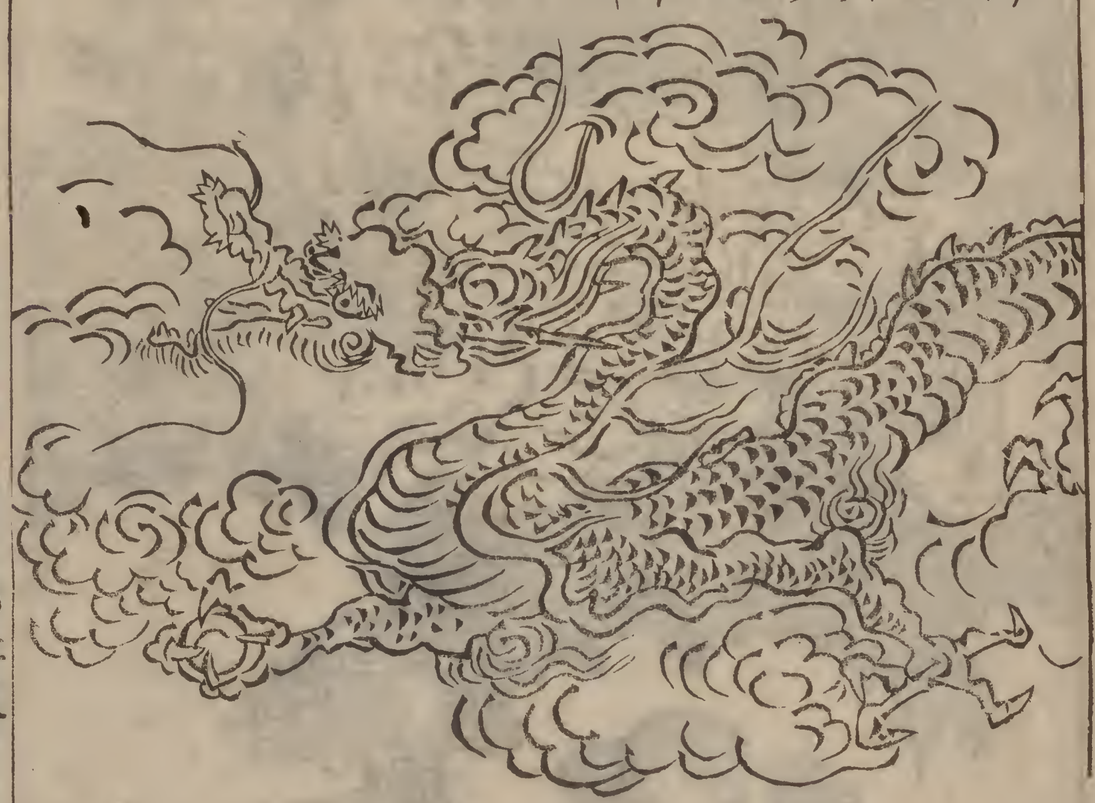
四足五采八十一鱗
九九之數

雲ハ合黄土なてひくくとよりくまれ出ーたのしまてれけー取をごろんけくたくと指又紫雲白雲ホあり各そ名乃そと用てそろる

臥より也に中ずこめりくゆれけーうそごろり中ず墨曲股の方ハうすくゆずでおいらう添くうくひひの内うすこ曲合黄土さひ付或ハ朱墨まて指りむくくりけを

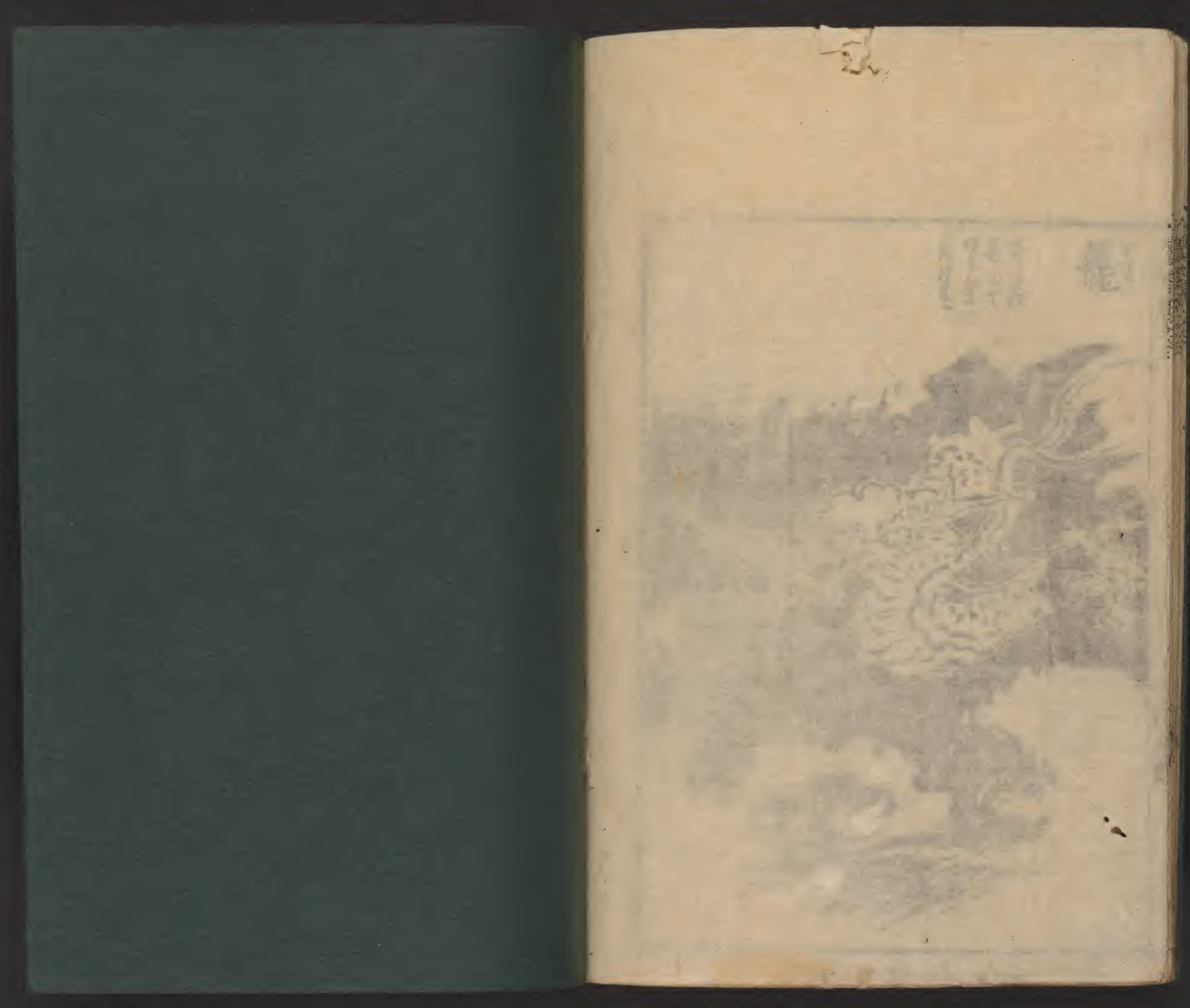
守信筆

背ハ緑青(せいろく)或ハ紺青(こんせい)せにでハ朱くゆゆとりこふんくり尖ハ朱曲毛ハすこくまとり朱墨うくる角(つの)ハ合黄土くゆる朱すこくるまこふんさゆひ腹ハ生多くて又ハ朱まてくゆ



龍（りう）

おく淺
墨まて
ゆりくま
れけも



754.7
.R8